

2013 年度 所員業績リスト

■大石幸二

<研究論文> (査読あり) 掲載発行済 計 2 件

中内麻美・大石幸二 (2013) . 幼児の身体の動きへの支援が身体像の描出および行動表出に及ぼす効果. *臨床発達心理実践研究*, **8**, 44-52. (2013 年 8 月発行)

赤塚正一・大石幸二 (2013) . 就学期の移行支援体制づくりに関する実践的研究—地域における特別支援教育コーディネーターの役割と課題—. *特殊教育学研究*, **51(2)**, 135-145. (2013 年 9 月発行)

<研究論文> (査読なし) 掲載発行済 計 1 件

大石幸二 (2013) . 単一事例デザインを用いた方法. *臨床発達心理実践研究*, **8**, 21-24. (2013 年 8 月発行)

<学会発表> (国内) 論文集掲載済 計 5 件

大石幸二 (2013) . 就学期の移行支援における相談過程の分析—発話内容のコンサルタント間の比較—. *日本特殊教育学会第 51 回大会* (2013 年 8 月 ; 明星大学) .

石岡れい子・大石幸二 (2013) . 小学校におけるクラスワイド S S T の効果に関する研究—情動面の問題改善および対人相互作用の促進と学級集団への影響—.

日本特殊教育学会第 51 回大会 (2013 年 8 月 ; 明星大学) .

大石幸二 (2013) . 実践研究論文の書き方ワークショップ—単一事例デザインを用いた方法—. *日本臨床発達心理士会第 9 回全国大会論文集* (2013 年 9 月 ; 千葉大学) .

秋山優里・大石幸二・杉江征 (2013) . セルフ・モニタリング傾向と援助要請行動の関連. *日本心理学会第 77 回大会* (2013 年 9 月 ; 北海道医療大学) .

西山久美子・大石幸二・齋藤慈子 (2014) . 乳幼児に対する他者の反応と母親の受け止め方. *日本発達心理学会第 25 回大会* (2014 年 3 月 ; 京都大学)

<寄稿論文> 掲載発行済 計 2 件

大石幸二 (2014) . 発達障害のある幼児・児童生徒の「二次的障害」の原因と対応—「被支援感」の実感と寛容な社会の実現に向けて—. *千葉教育*, **平成 26 年 2・3 月号 (通巻 624 号)** , 巻頭論文, 2-5. (2014 年 2 月 ; 千葉県教育委員会)

大石幸二 (2013) . 第 4 講座「特別なニーズをもつ子どもたちへの支援と連携のあり方」. *第 52 回学校保健ゼミナール講演集*, 63-79. (2013 年 11 月 ; 東山書房)

<取材・報道・広報> 計 1 件

大石幸二 (2013) . ひきこもり支援相談士認定協議会 (取材) . (2013 年 7 月)

■小口孝司

<論文> (査読あり)

- Oguchi, T., Abe, K., Sekiguchi, Y., & Saiga, R. (2013). Effectiveness of an edutainment theme park in “KidZania” improves children’s career consciousness. *19th Asia Pacific Tourism Association Annual Conference Proceedings*. (10 pages)
- Oguchi, T., Saiga, R., & Io, M. Y. (2013). The effects of visiting homelands on immigrants’ psychological well-being. *19th Asia Pacific Tourism Association Annual Conference Proceedings*. (9 pages)
- Takeda, H., Momose, H., & Oguchi, T. (2013). Effects of vacation preference and images of similar scenery on stress recovery. *Proceedings of TOSOK International Tourism Conference*. (10 pages)
- 落合勉・小口孝司 (2013). 日本語版 TALE 尺度の作成および信頼性と妥当性の検討 心理学研究, 84(5), 508-514.
- 雑賀玲衣・小口孝司 (2014). 日本およびマカオ在住移民の母国訪問が精神的健康に及ぼす影響の比較検討 日本国際観光学会論文集, 21, 27-33.
- 大嶋玲未・廣川佳子・小口孝司 (2014) 神経症傾向が職務満足感と組織市民行動に及ぼすネガティブな影響を軽減するセルフ・モニタリング パーソナリティ研究, 22(3), 262-272.
- 川久保惇・吉野紘平・小口孝司 (2014). 2D と 3D 視聴による疲労の探索的研究 立教心理学研究, 56, 1-10.
- 大嶋玲未・小口孝司 (2014). サービス提供者のセルフ・モニタリング, 誠実性と評価指標の関連性 立教心理学研究, 56, 23-32.

<論文> (査読なし)

- Oguchi, T. & Io, M. U. (2013). The motivation for Chinese immigrants in Japan to visit their homeland. *Annual Reports of 21st Century Human Interaction Research Center (Toyo University, Japan)*. 10, 39-43.

<書籍>

- 小口孝司 (監修) (2013). よくわかる社会心理学 ナツメ社

<学会発表>

- Nakajima, M., Oguchi, T., Takano, K., & Tanno, Y. (2013). Confidential and Unconfidential Self-Understanding: The Mediators of Self-Rumination and Self-Reflection. *The 4th Asian Cognitive Behavior Therapy (CBT) Conference*. (Tokyo) (審査あり)
- Nakajima, M., Takano, K., Oguchi, T., & Tanno, Y. (2014). Self-reflection alleviates the maladaptive effect of self-rumination on insight. 2014 Annual Meeting of Society for Personality and Social Psychology. (Austin, Texas, USA) (審査あり)
- 廣川佳子・小口孝司 (2013). サイコロジカルエンパワーメントに関する実証的研究 —サービス従業者を対象とした検討— 産業・組織心理学会 第 29 回大会発表論文集, 42-45. (京都橘大学)
- 大嶋玲未・小口孝司 (2013). 美容師のセルフ・モニタリングに注目した事例研究 —高業績をあげる低モニター美容師の特徴— 産業・組織心理学会 第 29 回大会発表論文集, 156-159. (京都橘大学)
- 大嶋玲未・小口孝司・阿部佳奈子・廣川佳子 (2013). セルフ・モニタリングが学生の職業レディネス、職業観、職業選択に及ぼす影響 日本心理学会 第 77 回大会発表論文集. (札幌コンベンションセンター)
- 竹田葉留美・小口孝司・福澤真代 (2013). 専門的心理的援助要請態度に影響を及ぼす

- 要因 日本心理学会 第 77 回大会発表論文集. (札幌コンベンションセンター)
中島実穂・小口孝司・高野慶輔・丹野義彦 (2013). 省察の適応的効果におけるハーディネスの役割 日本心理学会 第 77 回大会発表論文集. (札幌コンベンションセンター)
- 川久保惇・小口孝司 (2013). 3D 映像視聴による疲労に対する探索的検討 日本心理学会 第 77 回大会発表論文集. (札幌コンベンションセンター)
- 雑賀玲衣・小口孝司 (2013). 中国移民の自伝的記憶機能が母国訪問および精神的健康に及ぼす影響 日本心理学会 第 77 回大会発表論文集. (札幌コンベンションセンター)
- 雑賀玲衣・小口孝司 (2013). 中国移民の母国訪問が精神的健康に及ぼす影響 日本社会心理学会第 54 回大会発表論文集. (沖縄国際大学)
- 川久保惇・小口孝司 (2013). 睡眠の質を規定する要因及び主観的ストレス、抑うつへの影響 日本社会心理学会第 54 回大会発表論文集. (沖縄国際大学)
- 山口一美・小口孝司 (2013). 対人サービスから見たリゾートにおける癒し 日本社会心理学会第 54 回大会発表論文集. (沖縄国際大学)
- 雑賀玲衣・小口孝司 (2013). 中国移民の母国訪問が精神的健康に及ぼす影響 日本国際観光学会第 17 回大会発表論文集. (玉川大学)

■都築誉史

<論文>

- 都築誉史・本間元康・千葉元気・菊地学 (2014). 眼球運動の時系列解析による多属性意思決定における魅力効果と妥協効果に関する検討 認知心理学研究, **11**, 81-96. (査読有)
- 千葉元気・都築誉史 (印刷中). 多属性意思決定における妥協効果と魅力効果の生起機序に関する包括的分析—生理学的指標と眼球運動測定に基づく実験的検討— 認知科学, **21**. (査読有)
- 相馬正史・都築誉史 (2014). 意思決定におけるバイアス矯正の研究動向 立教大学心理学研究, **56**, 45-58. (査読有)

<図書>

- 都築誉史 (2013). シミュレーション, 記憶のモデル 日本認知心理学会編 認知心理学ハンドブック 有斐閣, pp.22-23, 142-143.

<学会発表>

- Tsuzuki, T., & Honma, M. (2013). A time-series eye-tracking analysis of context effects in multi-attribute decision making. *Abstracts of the Psychonomic Society*, **18**, 231. (Toronto, Canada, November) (査読有)
- Tsuzuki, T., & Kikuchi, M. (2013). The effect of time pressure on group polarization and the first advocacy effect in group decision-making. *Abstract of the 34th Annual Conference of Society for Judgment and Decision Making*, 30 (Poster 40). (Toronto, Canada, November) (査読有)
- Tsuzuki, T., Kikuchi, M., & Chiba, I. (2013). Differences between maximizers and satisficers in regret and counterfactual thinking during repeated versus switching decisions. In M. Knauff,

- M. Pauen, N. Sebanz, & I. Wachsmuth (Eds.) *Proceedings of the 35th Annual Conference of the Cognitive Science Society* (p. 48). Austin TX: Cognitive Science Society. (Berlin, Germany, August) (査読有)
- Chiba, I., Tsuzuki T., & Kikuchi, M. (2013). The construal level theory and the dual process theory in multi-attribute decision making: An empirical examination. In M. Knauff, M. Pauen, N. Sebanz, & I. Wachsmuth (Eds.) *Proceedings of the 35th Annual Conference of the Cognitive Science Society* (p. 46). Austin TX: Cognitive Science Society. (Berlin, Germany, August) (査読有)
- Chiba, I., Tsuzuki, T., & Soma, M. (2013). An eye tracking and verbal protocol analysis of decision strategies in context effects of multi-attribute decision making. *Abstract of the 34th Annual Conference of Society for Judgment and Decision Making*, 41 (Poster 111). (Toronto, Canada, November) (査読有)
- 都築 蒼史 (2013). 消費者の認知に対する実験心理学的アプローチ (応募シンポジウム・代表) 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, SS(2). (9 月, 札幌コンベンションセンター) (査読有)
- 都築 蒼史・菊地学 (2013). タイムプレッシャーが集団極性化と第 1 発言者効果に及ぼす影響 日本社会心理学会第 54 回大会発表論文集, 93. (11 月, 沖縄国際大学)
- 都築 蒼史・千葉元気・菊地学 (2013a). 多属性意思決定における妥協効果に関する眼球運動の時系列解析 日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集, 29. (6 月, つくば国際会議場)
- 都築 蒼史・千葉元気・菊地学 (2013b). 多属性意思決定における魅力効果に関する眼球運動の時系列解析 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, 824. (9 月, 札幌コンベンションセンター)
- 千葉元気・都築 蒼史・相馬正史 (2013). 動機づけによる食品成分表示への視覚的注意の変化 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, 232. (9 月, 札幌コンベンションセンター)
- 菊地学・都築 蒼史・千葉元気・相馬正史 (2013). 他者との心的距離が多属性意思決定における魅力効果に与える影響 日本社会心理学会第 54 回大会発表論文集, 460. (11 月, 沖縄国際大学)
- 相馬正史・都築 蒼史・千葉元気 (2013). 時間制限や認知資源の消耗が道德ジレンマ場面での道德判断に及ぼす影響 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, 809. (9 月, 札幌コンベンションセンター)

■芳賀 繁

<学会発表>

- HAGA, S., ONODERA, O., YAMAKAWA, A., OISHI, A., TAKEDA, Y., KUSUKAMI, K., and KIKKAWA, T., Training of resilience skills for safer railways: developing a new training program on the basis of lessons from tsunami disaster, *Proceedings of the 5th Symposium of the Resilience Engineering Association*, 2012. (2013 年 7 月) (査読有)
- 大谷華・芳賀繁, 組織的公正は職業的自尊心を高めるか, 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, p.1196, 2013. (2013 年 9 月) (査読無)

■日高聡太

<論文>すべて査読あり

- Hidaka, S., and Nagai, M. (2013) Illusory motion and mislocalization of temporally offset target in apparent motion display. *Frontiers in Consciousness Research*, 4, 196.
- Honda, A., Shibata H., Hidaka, S., Gyoba, J., Iwaya, Y., and Suzuki, Y. (2013) Effects of head movement and proprioceptive feedback in training of sound localization. *iPerception*, 4, 253–264.
- Ide, M., and Hidaka, S. (2013) Visual presentation of hand image modulates visuo-tactile temporal order judgment. *Experimental Brain Research*, 228, 43-50.
- Teramoto, W., Kobayashi, M., Hidaka, S., and Sugita, Y. (2013) Vision contingent auditory pitch aftereffects. *Experimental Brain Research*, 229, 97-102.
- Takahashi, J., Hidaka, S., Teramoto, W., and Gyoba, J. (2013) Temporal characteristics of the effects of visual pattern redundancy on encoding and storage processes: Evidence from rapid serial visual presentation. *Psychological Research*, 77, 687-697.
- Hidaka, S., Teramoto, W., Keetels, M., and Vroomen, J. (2013) Effect of pitch-space correspondence on sound-induced visual motion perception. *Experimental Brain Research*, 231, 117-126.
- Ide, M., and Hidaka, S. (2013) Tactile stimulation can suppress visual perception. *Scientific Reports*, 3, 3453.

<学会発表>

- 日高聡太. 音によって生じる視覚運動知覚. 日本認知心理学会第 11 回大会, つくば国際会議場, 2013 年 6 月 30 日 (招待講演)
- 池田華子, 田中智明, 石山智弘, 日高聡太, 宮崎弦太. 超高精細映像に対する感性的印象評価. 第 9 回日本感性工学会春季大会, 北海道大学, 2014 年 3 月 22 日

■守谷順

<論文>すべて査読有り

- Moriya, J., & Sugiura, Y. (2013). Socially anxious individuals with low working memory capacity could not inhibit the goal-irrelevant information. *Frontiers in Human Neuroscience*, 7:840.
- Moriya, J., Tanno, Y., & Sugiura, Y. (2013). Repeated short presentations of morphed facial expressions change recognition and evaluation of facial expressions. *Psychological Research*, 77, 698-707.
- Moriya, J., & Takahashi, Y. (2013). Depression and interpersonal stress: The mediating role of emotion regulation. *Motivation and Emotion*, 37, 600-608.

<図書>

- 守谷順 (2013). 不安障害と認知 日本認知心理学会 (編) 認知心理学ハンドブック 有斐閣 pp.386-387.

<学会発表>

杉浦義典・袴田優子・守谷順・高野慶輔・寺島瞳（2013）特性不安と怒り優位性効果の低減—認知修正バイアス法の新たな手法の提案— 日本心理臨床学会第32回秋季大会（2013年8月、パシフィコ横浜）

守谷順・飯島雄大・佐々木淳・今井正司・国里愛彦・高野慶輔・金築優・金井嘉宏（2013年）アナログ研究の新展開 日本心理学会第77回大会（2013年9月、札幌コンベンションセンター）

■加藤千恵

<論文>

加藤千恵、相い雑わること錦のごとし—「術」の五行、『術の思想—医・長生・呪・交霊・風水』風響社、査読なし、2013年、29—53ページ

<雑文>

加藤千恵、不老不死、『學鏡』、査読なし（依頼原稿）、111巻、2014年、22—25ページ

■佐藤一彦／石山智弘

<シンポジウム及びセミナーなどでの講演>（国内）

佐藤一彦（2013）「4K放送実用化へ向けた制作者からの視点」、DCCJ（デジタルシネマ・コンソーシアム）主催・シンポジウム（2013年5月；慶應義塾大学）

佐藤一彦（2013）「放送番組としての4K映像制作～CS・4K放送の開始を来年度にひかえて～」、ATP（全日本テレビ製作社連盟）＋クリエイターズ・プラス主催・特別セミナー（2013年7月；毎日新聞社内マイナビホール）

佐藤一彦（2013）「4K/UHDとサイネージ」、デジタルサイネージ・コンソーシアム主催・4K勉強会（2013年8月；三菱総合研究所）

佐藤一彦（2013）「4K入門」、雑誌『ニューメディア』主催・全国4K祭り（2013年9月；徳島県神山町・寄井座）

佐藤一彦（2013）「初期4Kへの挑戦を振り返る」、雑誌『ニューメディア』主催・4K olymPac 第二回（2014年3月；デジタルハリウッド大学大学院）

<展示会などでのコンテンツ公開>（国内）

佐藤一彦・石山智弘「計測技術研究所ブースでの、超解像回路を用いた4K→8Kコンバートアップの試作例公開映示」、InterBEE（国際放送機器展）株式会社計測技術研究所ブース（2013年11月；幕張メッセ）

■中村秀之

<図書・章担当>

中村秀之 「喜劇の到来——森崎東のレジスタンスをめぐる覚書」, 藤井仁子編『森崎東覚宣言!』インスクリプト, 2013年11月, 367頁+63頁(資料), 担当分61-77頁 (単著, 査読なし)

<図書・翻訳>

中村秀之+河野真理江 ジョン・マーサー+マーティン・シングラー 著『メロドラマ 映画を学ぶ——ジャンル・スタイル・感性』(John Mercer, Martin Shingler, *Melodrama: Genre, Style, Sensibility*, Columbia University Press, 2004), フィルムアート社, 2013年12月, 279頁 (共訳, 査読なし)

■江川隆男

<著作>

『超人の倫理』、河出書房新社、2013年3月、全229頁。

<論文>

「〈超人の倫理〉への前哨——非意志主義のために」(『現代思想 特集・ニーチェはこう言った』、青土社、2013年2月号所収、pp.104-113)

「深層なき活火山——富士山と地図作成法」(『現代思想 特集・日本人と富士山』、青土社、2013年10月号所収、pp.212-219)

<雑誌対談>

「分裂分析的哲学——ガタリは何を解放したか」(千葉雅也[立命館大学]との対談、『現代思想 特集・フェリックス・ガタリ』、青土社、2013年6月号所収、pp.86-105)

<評論>

「落下し続ける〈星屑(スターダスト) - 強度(ジギー)〉」(『別冊文藝 デヴィッド・ボウイ』、河出書房新社、2013年5月、pp.109-112)

■日高優

<書評>

「開かれた書物に、生の態勢を学ぶ 前田英樹『ベルクソン哲学の遺言』書評」『立教映像身体学研究』第2号、66-77頁、2014年。

<図書・分担執筆>

「都市」(pp.200-203)・「風景」(pp.204-207)、笹田直人・野田研一・山里勝己編著『アメリカ文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房、2013年。

■池田華子

<論文>

Mougenot, C., Ikeda, H., & Watanabe, K. (2013) Influence of Designers' Kansei on Design Outcomes. *International Journal of Affective Engineering*, 12, 245-250. (査読あり)

Tanaka, S., Ikeda, H., Kasahara, K., Kato, R., Tsubomi, H., Sugawara, S. K., Mori, M., Hanakawa, T., Sadato, N., Honda, M., & Watanabe, K. (2013) Larger right posterior parietal volume in action video game experts: a behavioral and voxel-based morphometry (VBM) study. *PLoS ONE*, 8, e66998. (査読あり)

<学会発表> 口頭発表

池田華子, 田中智明, 石山智弘, 日高聡太, 宮崎弦太. 超高精細映像に対する感性的印象評価. 第9回感性工学会春季大会 (2014年3月22日, 北海道大学).